

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ
【安全・安心】

- 
- 1 生命、財産を守る体制が整備されている。・・・22
 - 2 安心して出かけられる。・・・24
 - 3 便利で安全な交通網が整備されている。・・・26
 - 4 安全な水の道が整備されている。・・・28
 - 5 良好な住環境が整備されている。・・・30
 - 6 快適に暮らせる都市施設が整備されている。・・・32

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

1 生命、財産を守る体制が整備されている。



なぜそうあるべき？

非常用持出袋の中身を最後にチェックしたのはいつですか？

災害時に落ち着いて行動するためには、ついつい忘れがちな防災意識を薄れさせないことが大切です。自然災害は、いつ、どれくらいの規模で起こるのか予測がつかないものです。「備えあれば憂いなし」の言葉のとおり、常に備えることが欠かせません。

災害時にまず守るべきは、自分の命、そして家族の命です。急に起こる災害で命を落とさないためには、住宅の耐震化はもちろん、家具の転倒防止やガラスの飛散防止など家庭内での対策はとても有効です。そして、高齢者や障がい者などの要支援者の把握や、お互いの助け合いを円滑に進めるためには、自主防災組織の育成・強化が大変重要です。

近年みられる局地的豪雨や、将来予想される南海トラフ巨大地震といった大規模災害に備え、河川の整備や土砂災害の対策、ため池の耐震化などの施設整備のほか、住民への周知等のソフト事業を強化し、住民の生命と財産を守っていきます。

火災については、消火活動が迅速に行われることはもちろん大事ですが、住民一人ひとりが火の取扱いに気を付け、火災を発生させないことが最も大切なことです。

消防団員は、地域の安全安心のために献身的に活動しており、火災や災害時に重要な役割を担っています。消防団員の確保については、以前から課題となっており、地域全体で団員をサポートする体制づくりが求められています。

救急業務については、出動回数が増加傾向にあり、今後も進む高齢化により、さらに増加することが予想されます。隊員の資質を向上させるとともに、地域等での救命講習などにより、隊員到着までの応急手当を普及させ、救命率の向上をめざします。



防災体制の強化

主要な取組		防災意識の高揚 防災情報の発信 防災資機材の充実 防災体制・組織の強化
主な役割	行政	防災情報を発信する。 防災資機材の充実に努める。 地域の防災活動を支援する。 災害に備え連携を強化する。
	住民	防災意識を高める。 地域で防災活動に取り組む。
	事業者	防災意識を高める。 災害時には応援協力する。

河川・ため池・山の整備

主要な取組		河川・遊水地・ため池の整備 森林の保全
主な役割	行政	河川・遊水地の整備を進める。 ため池の耐震性を高める整備をする。 山地災害を予防する。
	住民	河川・遊水地・ため池の整備に協力する。 山林の手入れをして山を守る。

消防・救急体制の充実

主要な取組		防火意識・救命意識の高揚 設備・資機材の充実 職員などの適正配置と資質向上
主な役割	行政	防火意識・救命意識の普及を図る。 設備や資機材を計画的に整備する。 職員などの適正配置と資質向上を図る。 広域連携体制を充実する。
	住民事業者	火災を発生させない。 消防団・女性消防クラブの活動に協力する。 危険物等を安全に管理する。 応急手当を身につける。

関連する主な計画

- ・ 幸田町地域防災計画（毎年更新）
- ・ 幸田町消防整備基本計画（H24～H33）

主な担当部課

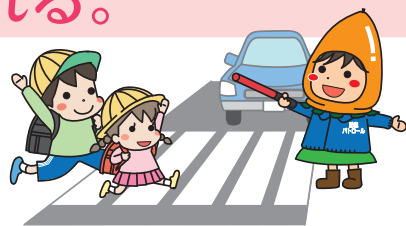
- ・ 消防本部
- ・ 総務部 防災安全課
- ・ 建設部 土木課
- ・ 環境経済部 産業振興課

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

2 安心して出かけられる。



なぜそうあるべき？

県下の交通死亡事故件数は、減少傾向にあります。他県と比べれば依然として多く、特に高齢者が事故にあう比率が高い傾向にあります。高齢化していく社会において、高齢者の交通安全推進は、特に重要になってきます。交通事故は、交通ルールを守ることによって防ぐことができます。悲しい事故を減らし、加害者にも被害者にもならないためには、一人ひとりが自覚を持って交通ルールを守ることが大切です。交通安全意識の向上とマナーアップを呼び掛けるとともに、交通安全の施設整備を充実させ、交通事故の減少に努めます。

犯罪の発生状況は、町内に多数組織されている防犯ボランティア団体の精力的な活動もあり、減少傾向にあります。これらの活動は、犯罪の起こりにくい生活環境づくりに役立っているとともに、地域の連帯感を高めており、今後も引き続き推進すべきものです。行政としても、みなさんの取組を支援するとともに、防犯のための設備を整備し、犯罪の少ないまちをめざします。

消費者トラブルについては、高齢者の被害が増加しており、今後も高齢者を狙った悪質な商法の増加が予想されます。また、インターネット関連のトラブルも増加しており、利用者の低年齢化や、巧妙化する手口への対応も必要です。



交通安全対策の強化

主要な取組		交通安全意識の高揚 交通安全施設の整備
主な役割	行政	交通安全意識を普及・啓発する。 交通安全施設を充実する。
	住民 事業者	交通ルールを守る。 交通安全活動に協力する。

防犯対策の強化

主要な取組		防犯意識の高揚 地域の防犯力の向上 防犯設備の充実
主な役割	行政	防犯情報を発信する。 地域活動を支援する。 防犯設備を整備する。
	住民	地域で防犯に取り組む。 犯罪が起きない生活環境をつくる。

消費生活の安定向上

主要な取組		知識の普及 相談体制の充実
主な役割	行政	情報を発信する。 消費者団体を支援する。 相談窓口を充実する。
	住民	学習し、知識を身に付け地域で見守る。 怪しいと感じたら相談する。
	事業者	トラブルを発生させない。

関連する主な計画

・幸田町防犯活動行動計画（H25～H28）

主な担当部課

総務部	防災安全課
建設部	土木課
企画部	企画政策課

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

3 便利で安全な交通網が整備されている。

なぜそうあるべき？

道路は、日々の暮らしにおける交通機能として、重要な役割を果たしているのはもちろんのこと、都市の骨格を形づくり、産業の発展や市街地の形成を誘導する大事な施設です。さらに、緊急時や災害時には避難路・避難場所となるなど、私たちの命をつなぐ道となるため、継続的な維持管理は欠かせません。

橋りょうについては、老朽化等に対応した修繕による長寿命化や耐震化、計画的な架け替えを図り、コストの縮減と安全性・信頼性の確保に努めます。

町内巡回バスは、平成8年のハッピーネス・ヒル・幸田オープンに合わせて「福祉巡回バス」として運行を開始しました。その後、平成24年の相見駅開業とともに「コミュニティバス」へと再編し、ルートやダイヤの拡充を行い、だれでも使える地域交通へと転換しました。今後は、地域の特性や住民ニーズ、地域交通のあり方を研究し、効率的な運行に努めます。

鉄道は、J R東海道本線が南北に縦断し、3駅の合計乗車人数は順調に増加しています。今後とも、住民生活や経済活動をより円滑に支えることができるよう、運行内容や設備の改善、充実が望まれます。

公共交通は、高齢化社会や環境保全において大変有効な交通手段です。これからも公共交通を維持していくためには、自らの暮らしに密接にかかわるものであることを、住民一人ひとりが理解し、積極的に利用することが大切です。



道路の整備

主要な取組		幹線道路の整備 生活道路の整備 維持管理体制の充実
主な役割	行政	県道・国道の整備を進める。 幹線町道、生活道路を整備する。 道路施設の適切な維持管理を行う。
	住民事業者	快適な道路の維持に協力する。 道路整備に協力する。

公共交通の整備

主要な取組		3 駅の充実 コミュニティバスの充実
主な役割	行政	鉄道施設やダイヤの充実を J R へ働きかける。 利用しやすいコミュニティバスとする。
	住民	公共交通機関を積極的に利用する。
	事業者	利用促進イベントを開催する。



関連する主な計画

- ・ 幸田町橋梁長寿命化修繕計画（H25～H34）
- ・ 幸田町都市計画マスタープラン（H22～H42）
- ・ 幸田町都市交通マスタープラン（H22～H42）
- ・ 幸田町総合交通戦略（H22～H31）

主な担当部課

建設部	土木課
建設部	都市計画課
企画部	企画政策課
総務部	財政課

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

4 安全な水の道が整備されている。

なぜそうあるべき？

上水道の給水普及率は、平成25年度末において99.8%となり、住民のほぼ全てが水道水を利用している状況にあります。

これからは、新市街地の開発による配水管新設の需要は減少傾向となり、老朽化した既存施設の更新や長寿命化、耐震化など、維持管理を計画的に進めていきます。

また、渇水時や災害時には、生活を守るための水の確保に努めます。

污水处理人口普及率については、平成25年度末において99.8%となり、普及が進んでいます。一時は、生活排水などによる河川の水質汚濁が懸念されていましたが、みなさんの接続への協力もあり、水質は改善されてきました。

公共下水道についても、上水道と同様に管路や施設の老朽化が進行しており、計画的な対策を進めていきます。

農業集落排水については、処理施設の計画的な更新とともに公共下水道への接続も検討し、より効率的で経済的な処理方式を模索します。

合併処理浄化槽については、設置を促進し、適正な管理を呼び掛けます。



上水道の整備

主要な取組		安全な水道の整備 強じんな水道の整備
主な役割	行政	安全安心な水を届ける。 災害に強い水道にする。 老朽化への対策をする。
	住民事業者	水を大切に使う。 受水槽を適正に管理する。 井戸を活用する。 耐震工事や更新工事に協力する。

下水道の整備

主要な取組		公共下水道の整備 農業集落排水の維持管理の合理化 合併処理浄化槽の設置・適正管理
主な役割	行政	未整備地域の下水道を整備する。 老朽化への対策をする。 農業集落排水の維持管理を合理化する。 合併処理浄化槽の設置・適正管理を推進する。
	住民事業者	公共下水道・農業集落排水へ接続する。 合併処理浄化槽区域については、合併処理浄化槽を設置し、 適正に管理する。

関連する主な計画

- ・ 幸田町地域水道ビジョン（H20～H30）
- ・ 幸田町公共下水道全体計画書（H23～H37）

主な担当部課

環境経済部 水道課
建設部 下水道課

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

5 良好な住環境が整備されている。

なぜそうあるべき？

昭和51年の幸田深溝土地区画整理事業の着手を皮切りに、本町の南部地域から順次、土地区画整理事業や民間開発が展開され、順調に住宅地が整備されてきました。しかし、日本全体をみれば、人口減少社会となり、住宅地を開発すれば家が建つ時代ではなくなってきています。

本町にあっては、これまでのような急激な人口増加は見込めないものの、今後も増加が予測されており、引き続き土地区画整理事業による秩序ある整備を推進するとともに、良好な住環境形成に向けて開発を指導し、魅力ある住宅地の整備を進めていきます。

また、南海トラフ巨大地震の発生が予測されており、住民の命を守る災害に強いまちづくりが必要となっています。そのためにも、木造住宅の耐震診断や耐震改修、家具の転倒防止を促進し、災害に強い住宅づくりを推進していきます。

町営住宅については、建築から30年以上経過したものもあり、設備の更新や建物の長寿命化が課題となっています。今後は、町営住宅のニーズを把握しながら、民間住宅の借上げ方式などによる住宅供給も検討していきます。



住宅の整備

主要な取組		住宅地の整備 地震に強い住宅づくり 町営住宅の充実
主な役割	行政	住宅地の整備を促進する。 住宅の耐震化事業を促進する。 町営住宅の長寿命化を図る。
	住民事業者	良好な住宅地を供給する。 住宅を耐震化する。



関連する主な計画

- ・ 幸田町都市計画マスタープラン（H22～H42）
- ・ 幸田町建築物耐震改修促進計画（H25～H32）

主な担当部課

建設部 都市計画課
建設部 区画整理課

第1章

いのちと暮らしをまもるぞ

まちのあるべき姿

6 快適に暮らせる都市施設が整備されている。

なぜそうあるべき？

平成24年の相見駅の開業により3駅プラス1の4つの都市核が形成され、市街地は、この都市核を中心とした広がりをみせています。その周辺は、緑の山々に囲まれたのどかな田園風景が広がっており、豊かな自然と市街地が調和した都市景観が形成されています。

公園は、暮らしにやすらぎや潤いをあたえるだけでなく、子育てやコミュニティの場として、また災害時には避難場所として、重要な役割を持っています。公園施設の老朽化や住民の利用形態の変化に対応し、誰もが安全で快適に利用できるように整備を進めます。

墓地については、共同墓地の整備支援で需要に対応してきましたが、地域により整備水準に差があります。これからは、多様化するニーズの動向を探りながら、さまざまな整備の方法を検討するとともに、引き続き共同墓地の整備を推進します。

これから先、新たな土地利用による地域の活性化を図りながら、今後も都市核を中心に各地域の特性を活かした景観に配慮しつつ、住民が快適に暮らすための都市施設を適正に配置することにより、コンパクトな市街地の形成をめざします。



市街地の整備

主要な取組		コンパクトなまちづくり 新たな土地利用による地域の活性化 都市景観の形成
主な役割	行政	3駅を核とした都市施設を整備する。 ハッピネス・ヒル・幸田周辺を整備する。 人口増加に対応した市街地整備をする。 地域の特性を生かした景観づくりをする。
	住民 事業者	地域の特性を生かした景観づくりに努める。

公園・緑地の整備

主要な取組		公園・緑地の整備
主な役割	行政	公園を整備する。 緑地を保全する。
	住民	公園に愛着をもってもらう。
	事業者	緑地を管理する。

墓園の整備

主要な取組		墓園の整備
主な役割	行政	共同墓地の整備を支援する。 墓園の整備を推進する。
	住民	共同墓地を整備する。 墓園の整備に協力する。

関連する主な計画

- ・ 幸田町都市計画マスタープラン（H22～H42）
- ・ 幸田町緑の基本計画（H22～H42）

主な担当部課

建設部	都市計画課
建設部	区画整理課
環境経済部	環境課

住みやすいまち とは...

